

決算説明会

2024年3月期 第1四半期

ミネベアミツミ株式会社

2023年8月4日

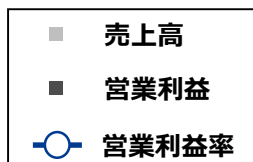
売上高は第1四半期として過去最高

(百万円)	2023年3月期		2024年3月期	前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	1Q	4Q	1Q		
売上高	251,040	339,718	292,370	+16.5%	-13.9%
営業利益	14,255	34,441	6,079	-57.4%	-82.3%
税引前利益	14,274	33,199	7,838	-45.1%	-76.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	10,734	33,068	3,661	-65.9%	-88.9%
基本的1株当たり 四半期利益 (円)	26.43	80.57	8.96	-66.1%	-88.9%

為替レート	2023年3月期 1Q	2023年3月期 4Q	2024年3月期 1Q
US\$	124.44円	132.73円	134.92円
ユーロ	134.45円	141.94円	146.23円
タイバーツ	3.68円	3.91円	3.93円
人民元	19.13円	19.32円	19.46円

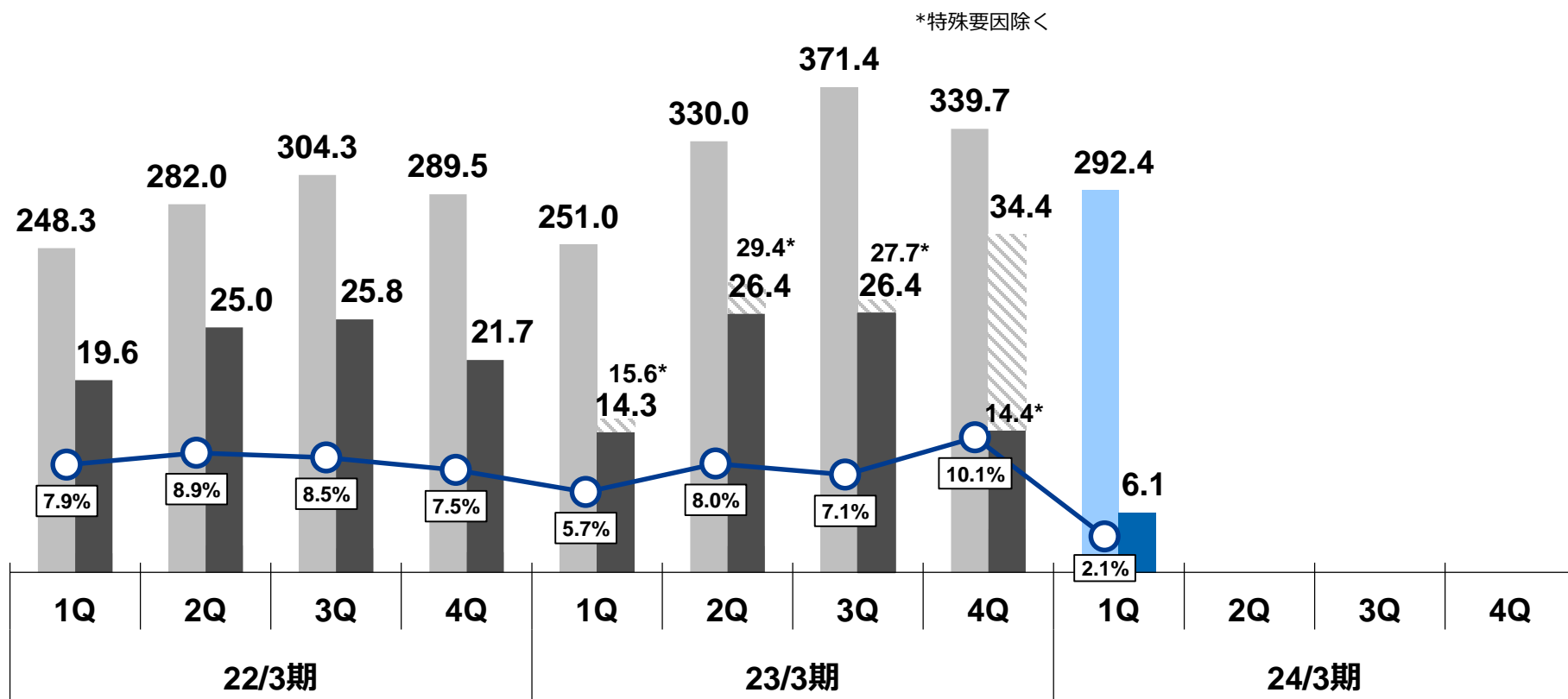
売上高、営業利益、営業利益率

(10億円)



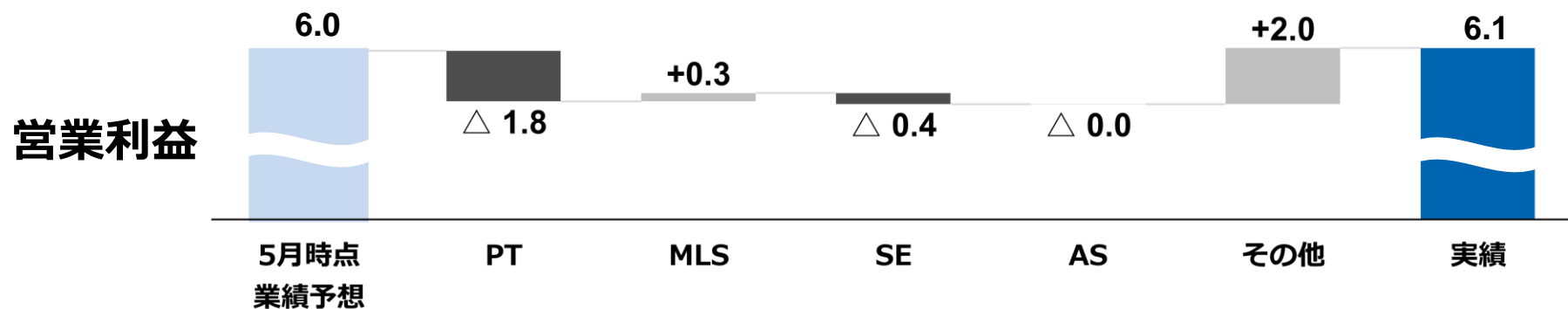
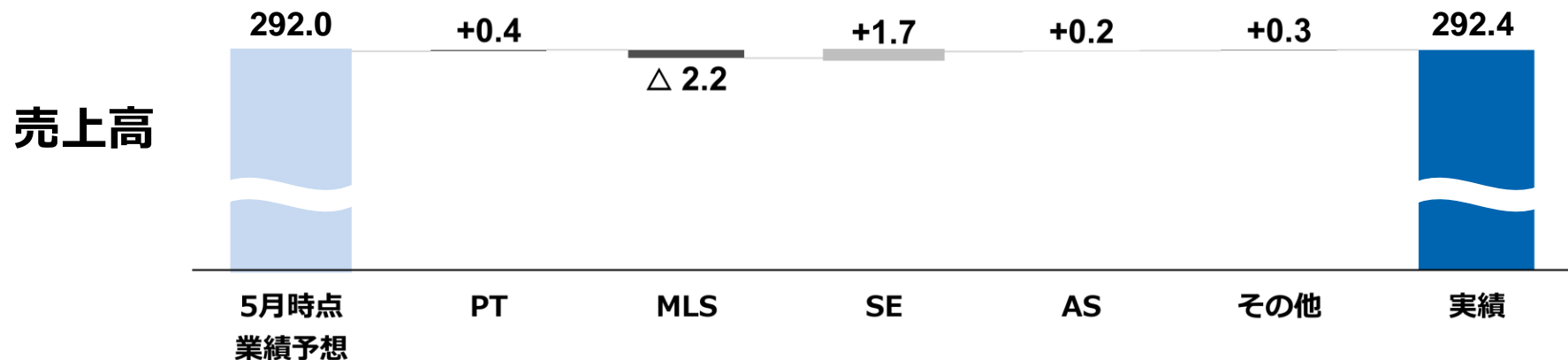
23/3期 特殊要因

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
為替予約	△1.3	△3.0	△2.9	△1.5	△8.7
その他	-	-	1.7	21.5	23.2
合計	△1.3	△3.0	△1.3	20.0	14.5



1Q実績 期初予想からの差異

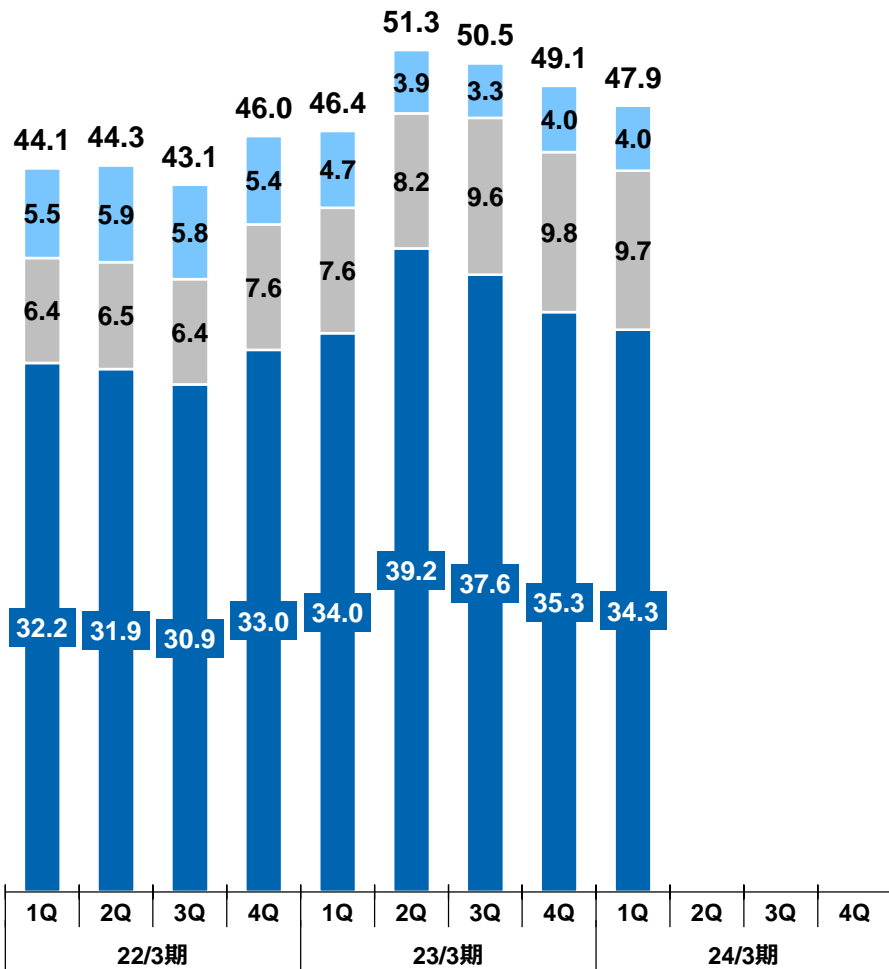
(10億円)



プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT)

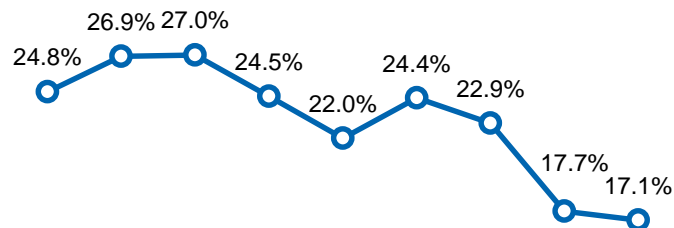
売上高 (10億円)

■ ボールベアリング ■ ロッドエンド・ファスナー ■ ピボットアセンブリー



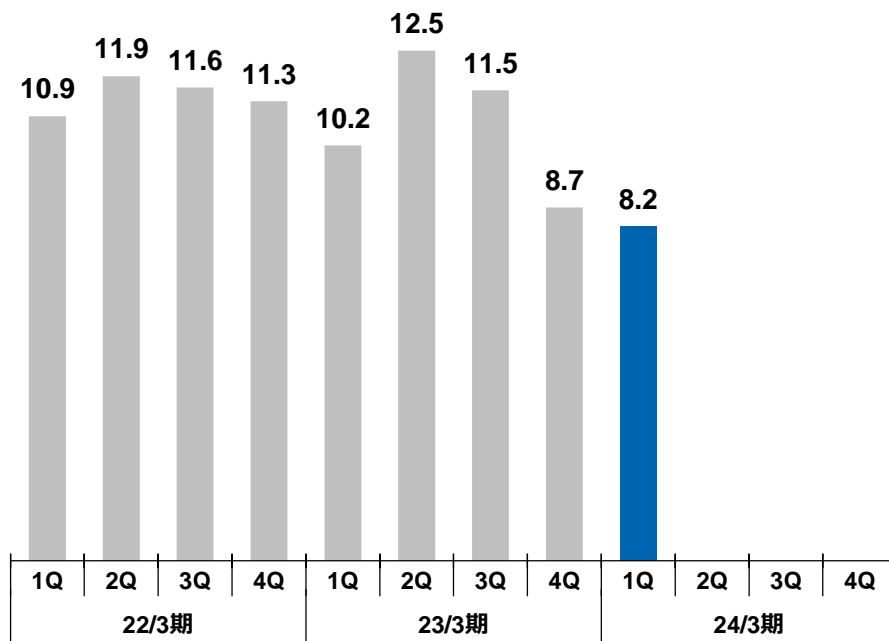
営業利益 (10億円)

■ 営業利益 ● 営業利益率



23/3期 特殊要因

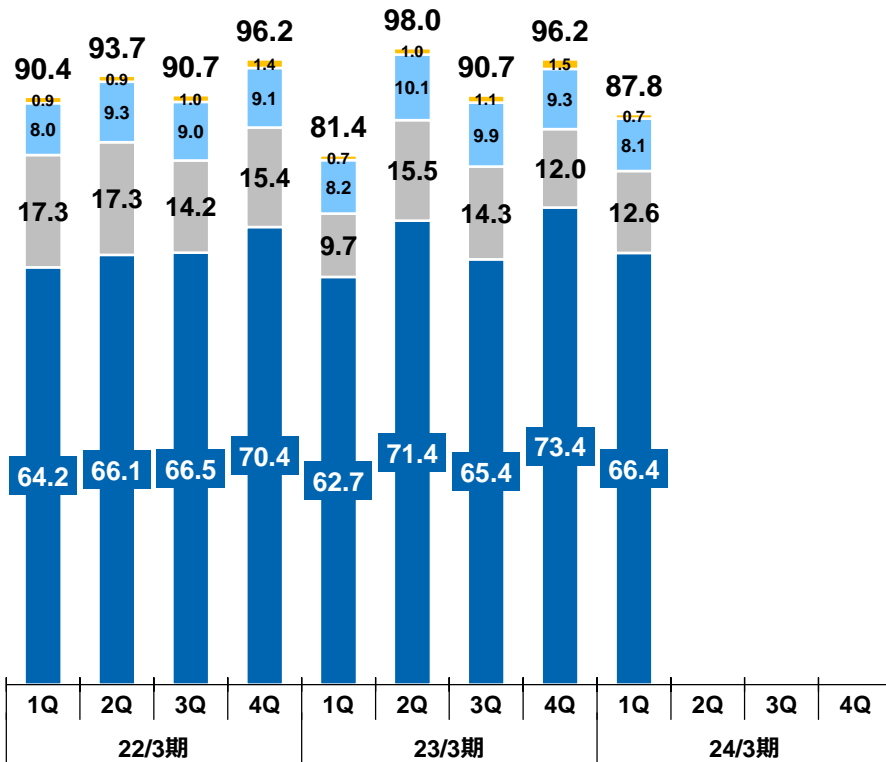
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
為替予約	△0.2	△0.3	△0.4	△0.2	△1.1
その他	-	-	-	△1.4	△1.4
合計	△0.2	△0.3	△0.4	△1.5	△2.4



モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS)

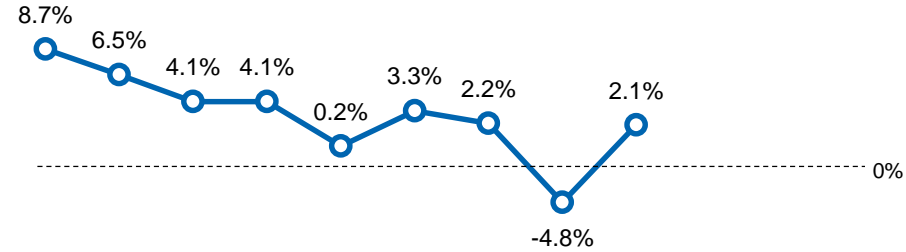
売上高 (10億円)

■ モーター ■ エレクトロデバイス ■ センシングデバイス ■ その他



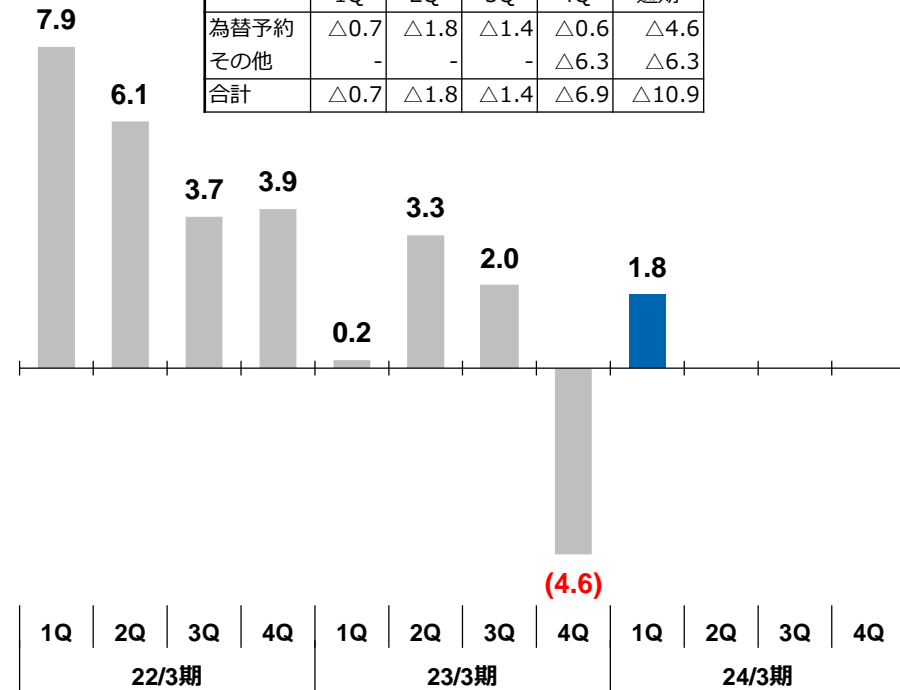
営業利益 (10億円)

■ 営業利益 ● 営業利益率



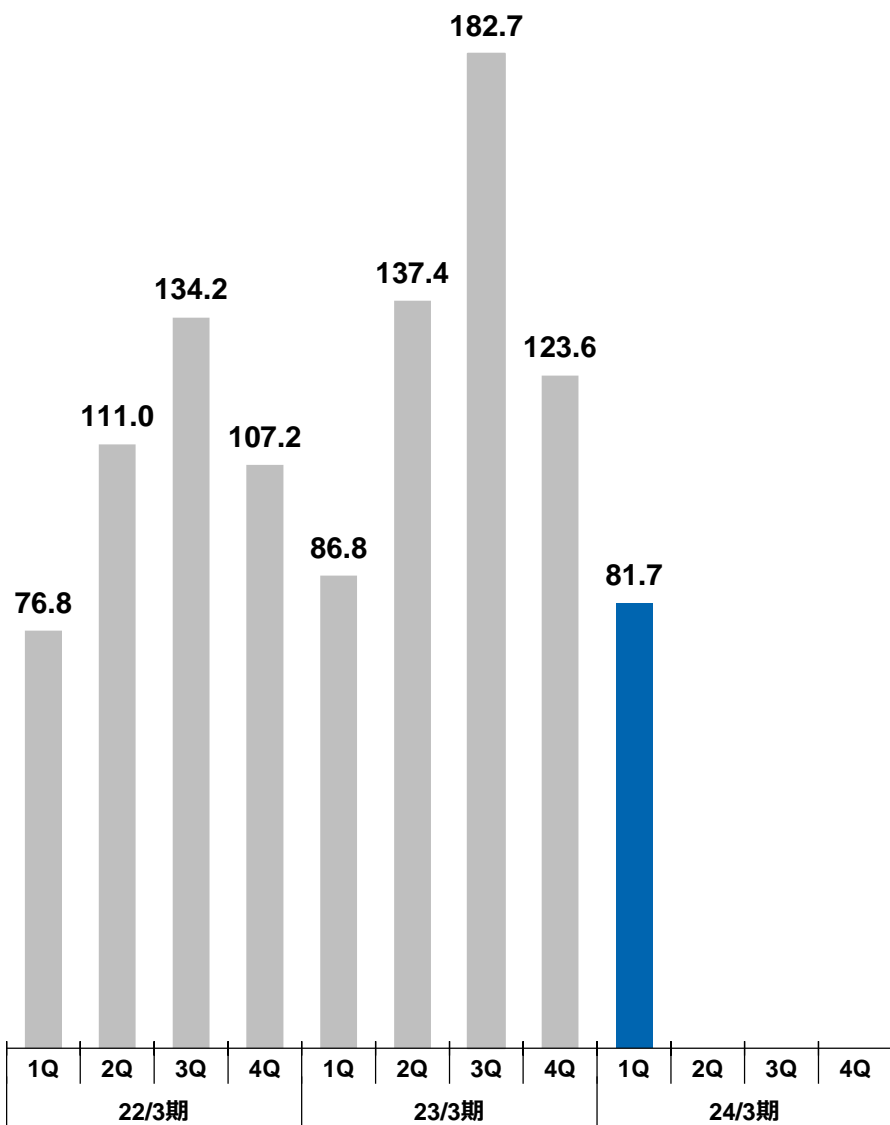
23/3期 特殊要因

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
為替予約	△0.7	△1.8	△1.4	△0.6	△4.6
その他	-	-	-	△6.3	△6.3
合計	△0.7	△1.8	△1.4	△6.9	△10.9

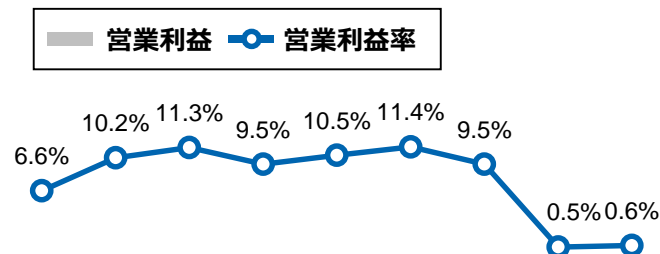


セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE)

売上高 (10億円)

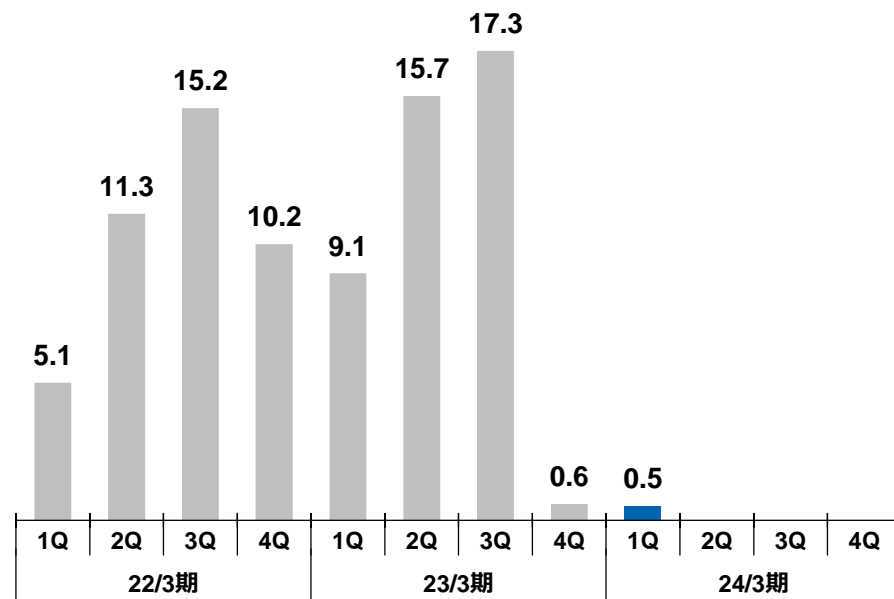


営業利益 (10億円)



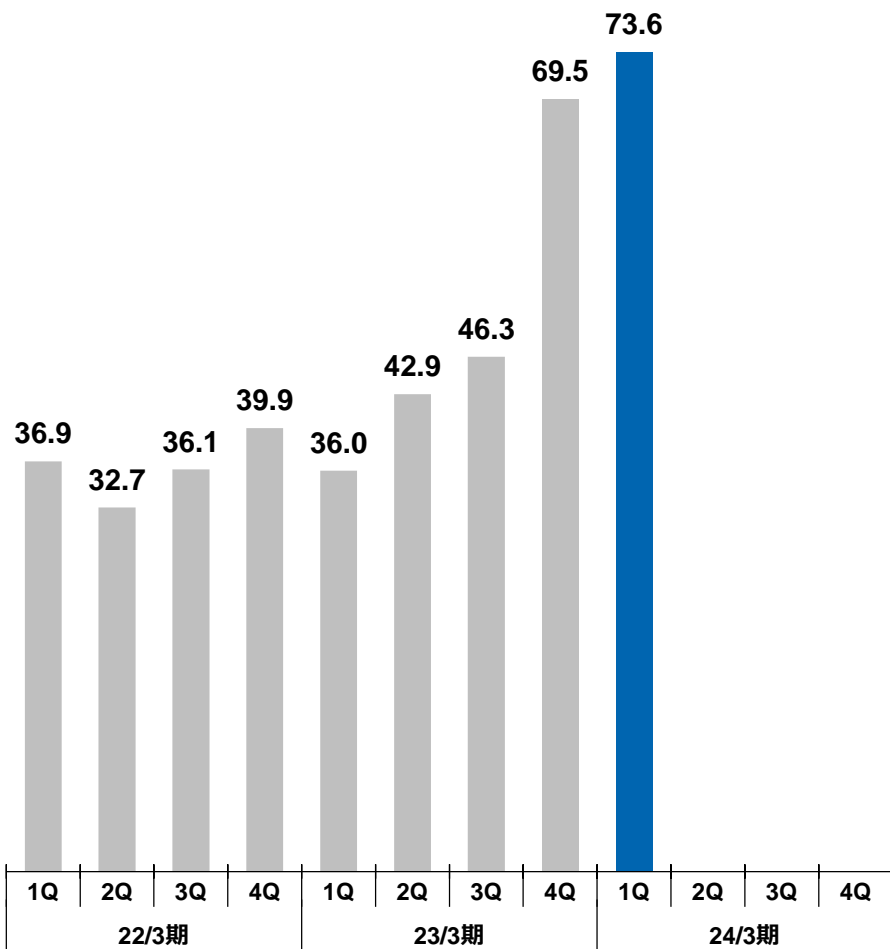
23/3期 特殊要因

	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
為替予約	△0.4	△0.8	△1.2	△0.7	△3.1
その他	-	-	1.7	△3.7	△2.0
合計	△0.4	△0.8	0.5	△4.4	△5.1

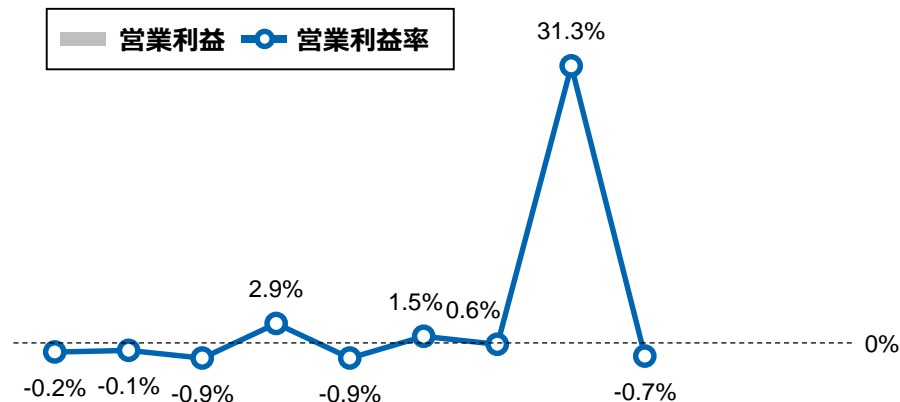


アクセスソリューションズ セグメント (AS)

売上高 (10億円)

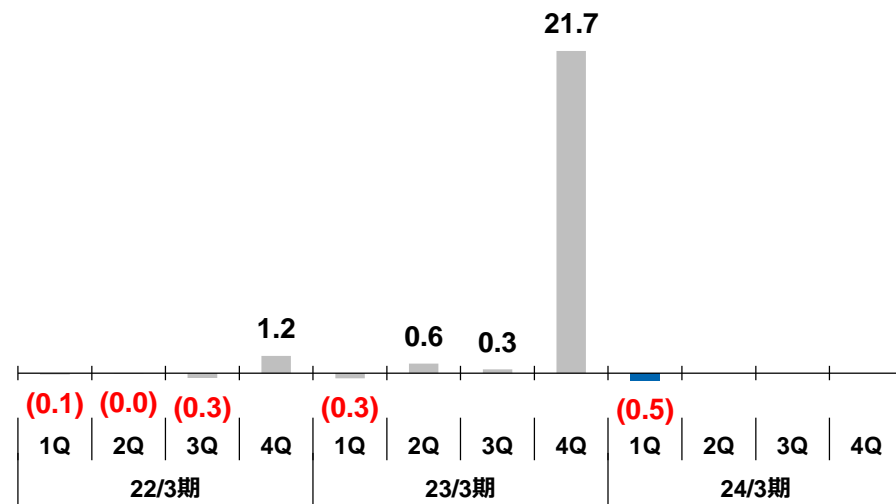


営業利益 (10億円)



23/3期 特殊要因

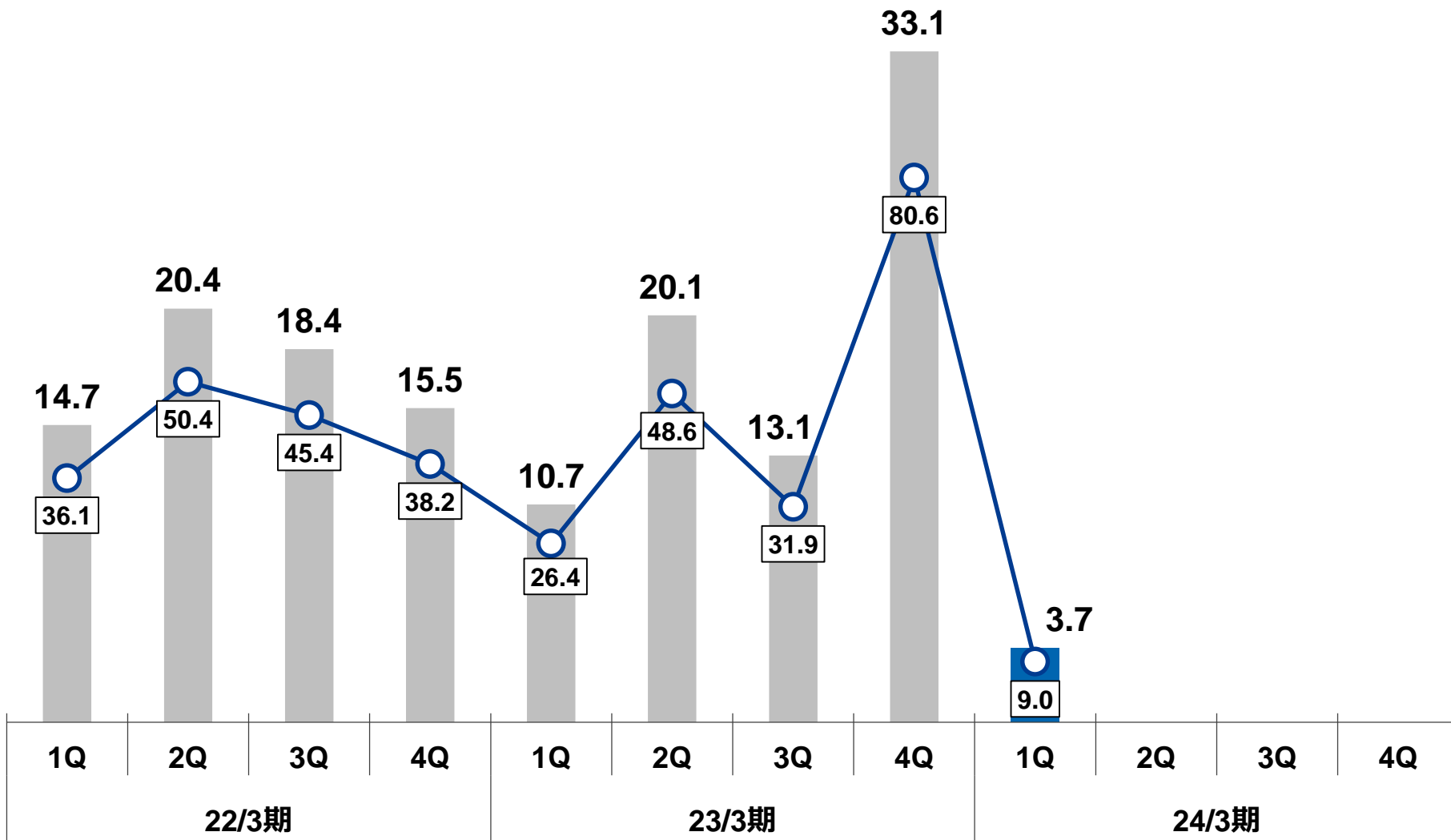
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
為替予約	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	20.2	20.2
合計	-	-	-	20.2	20.2



親会社の所有者に帰属する四半期利益

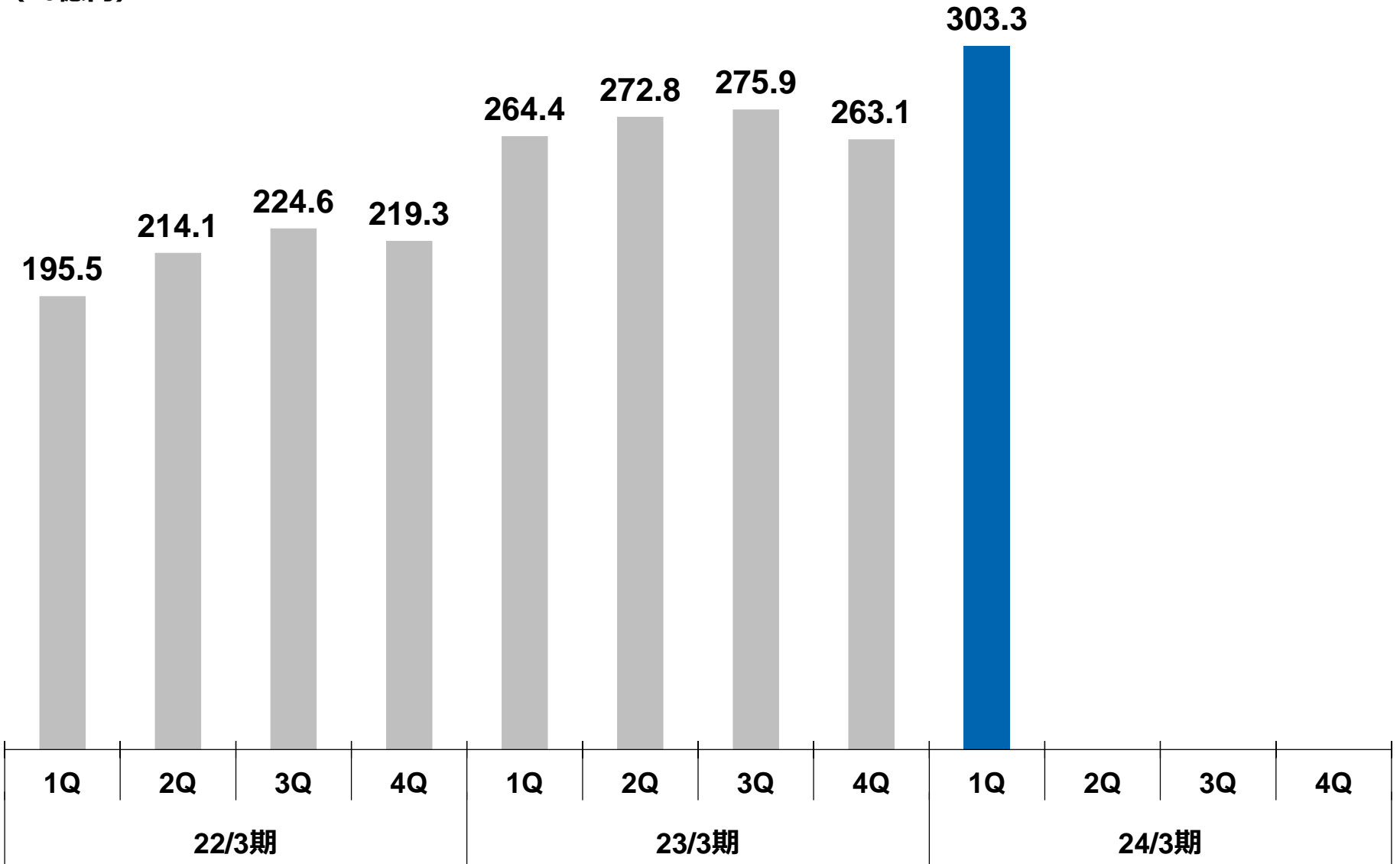
(10億円)

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益 ○ 基本的1株当たり四半期利益 (円)



棚卸資産

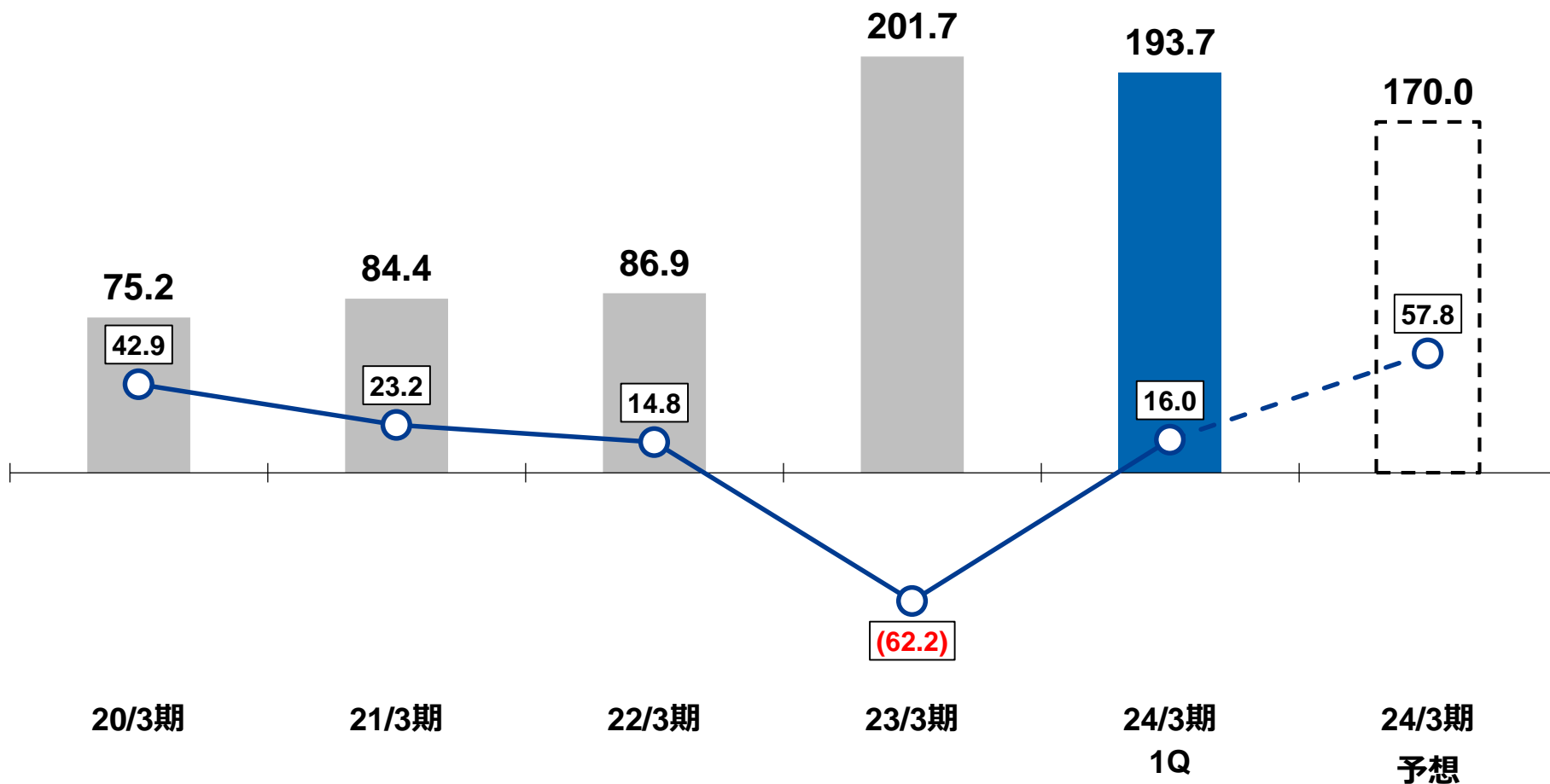
(10億円)



ネット有利子負債、フリーキャッシュフロー

(10億円)

■ ネット有利子負債* ○ フリーキャッシュフロー



*ネット有利子負債：連結財政状態計算書上の「社債および借入金」 - (「現金および現金同等物」+3か月超の定期預金)

足元の状況が不透明なため、期初計画は据え置き

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期			
	通期	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,292,203	663,000	787,000	1,450,000	+12.2%
営業利益	101,522	28,000	67,000	95,000	-6.4%
税引前利益	96,120	26,500	65,500	92,000	-4.3%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	77,010	20,000	50,000	70,000	-9.1%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	187.62	48.97	122.44	171.41	-8.6%

為替レート	2023年3月期 通期	2024年3月期 2Q-4Q想定
US\$	134.19円	130.00円
ユーロ	139.90円	140.00円
タイバーツ	3.82円	3.85円
人民元	19.68円	19.40円

セグメント別業績予想

(百万円)	2023年3月期	2024年3月期			
	通期	上半期	下半期	通期	前期比
売上高	1,292,203	663,000	787,000	1,450,000	+12.2%
プレジジョンテクノロジーズ	197,300	99,500	110,500	210,000	+6.4%
モーター・ライティング&センシング	366,275	187,000	218,000	405,000	+10.6%
セミコンダクタ&エレクトロニクス	530,464	226,000	289,000	515,000	-2.9%
アクセスソリューションズ	194,699	148,500	166,500	315,000	+61.8%
その他	3,465	2,000	3,000	5,000	+44.3%
営業利益	101,522	28,000	67,000	95,000	-6.4%
プレジジョンテクノロジーズ	42,951	22,500	26,500	49,000	+14.1%
モーター・ライティング&センシング	922	4,000	13,000	17,000	18.4倍
セミコンダクタ&エレクトロニクス	42,740	11,500	30,500	42,000	-1.7%
アクセスソリューションズ	22,302	1,500	8,500	10,000	-55.2%
その他	△1,290	△500	△500	△1,000	-
調整額	△6,103	△11,000	△11,000	△22,000	-

全体

- 1Qの売上高・営業利益は、ガイダンス通り着地。
- データセンターの落ち込みが、最大の足踏み要因であるものの、回復は時間の問題。
- 中長期の事業拡大計画には変化なし。

プレジジョン テクノロジーズ (PT)

- データセンター向けボールベアリングとピボットが弱含む。
- 自動車・航空機は堅調なるも、完全復活には少し時間を要する。

モーター・ ライティング& センシング (MLS)

- 車載向けモーターは、市場回復とコンテンツグロースで拡大継続。
- バックライトは、車載・タブレット向けに注力し、収益回復をはかる。
- スピンドルモーターは、データセンター回復待ち。

セミコンダクタ& エレクトロニクス (SE)

- 半導体は復調。IGBT/SiCの成長ストーリーに変化なし。
- 光デバイスは、計画通り2Qから生産立ち上げを開始した。

アクセス ソリューションズ (AS)

- PMI活動による収益性改善も進む。
今期営業利益100億円以上へ。

中期的にデータセンターは 成長が加速

主なポイント

1 ボールベアリング 現在
データセンターの回復時期は
依然として不透明だが、時間の問題

ボールベアリング 中長期

データ生成量がCAGR20%超成長
生成AI、自動運転レベル3、M2Mなど

車載向けのコンテナ・グローブが上乘せ

2 ロッドエンド・ファスナー
コロナ後の航空機需要の本格回復で
受注が好調 (サプライチェーン・リスクは注視)

データ生成量予測



- ・データ量増加
- ・消費電力300~800%増加*
- ・従来比200%高温化**
- ・運営管理費増加

過酷な環境要求に対応した
データセンターを支える
HDD部品・冷却モジュールの
ニーズは今後も増加

*ラック1台の消費電力比較 (従来サーバー: GPUサーバー)
従来の3.3倍~7.5倍 (4kVA~9kVA: 30kVA) 当社調べ
**サーバーラックの吸い込み側と吹き出し側の温度差
(従来ラックΔt: 10℃ → GPUラック20℃以上) 当社調べ

Mach Aero Components Private Ltd.
第3工場 (インド) 投資額: 30億円



(完成予想図)

車載向けニッチマーケットで トップライン成長と収益性確保

主なポイント

- 1 車載モーター
電動化が加速する車載向けの
モーター・アクチュエーターがグローバル
ニッチトップ戦略で順調に成長中
AGA、HVACモジュール、レゾルバなど
- 2 電子デバイス
LEDバックライトが優位な用途に
フォーカス
- 3 HDDモーター
データセンターの回復待ちと確実な成長
新記録方式HDDの事業拡大期待

車載向けモーター 成長ドライバー

Electric 電動

- ▶ AGA ※1
- ▶ HVACモジュール
- ▶ レゾルバ
- ▶ ウォータポンプ用モーター
- ▶ 二次電池冷却ファン

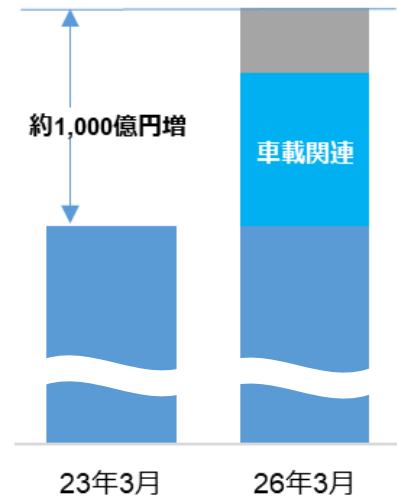
Autonomous 自律走行

- ▶ LiDAR用ブラシレスモーター
- ▶ LiDAR用LATM ※2
- ▶ ECU冷却ファン

※1 AGA : アクティブ グリルシャッターアクチュエーター

※2 LATM : 限定角度往復回転モーター

モーター売上高 成長イメージ



LEDバックライトの用途開拓



車載 クラスタパネル



タブレット

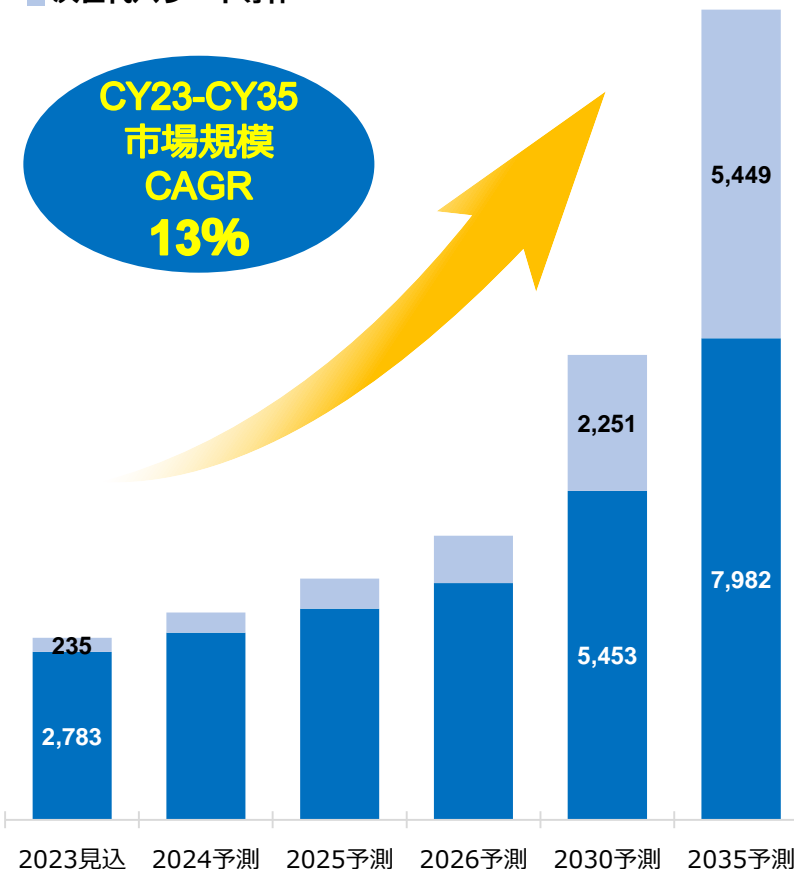
パワー半導体の仕込みが 着々と進む

主なポイント

- 1 アナログ半導体
パワー半導体はCAGR13%の伸び
グローバルニッチトップで事業拡大
半導体BBレシオが徐々に回復中
- 2 光デバイス
アクチュエータは順調に新製品立ち上げ中

パワー半導体 世界市場規模予測 (10億円)

- シリコンパワー半導体
- 次世代パワー半導体



(富士経済「2023年版次世代パワーデバイス&パワエレ関連機器市場と将来展望」より当社作成)

PMI活動が順調に進捗 今期営業利益を 100億円以上確保へ

主なポイント

1 PMIが進み、収益性改善中

2 Tier1ポジションのフル活用

3 相合製品での市場提案進む

次の成長の柱となる、相合・高付加価値製品

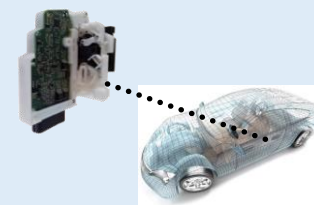
▶ フラッシュハンドル

リモコンキーを持った人が車に近づくとドア表面からハンドルが自動的に出てくる。デザイン性や空力性能の向上に貢献。



▶ ラッチ

小型軽量化を図った電氣的解除のラッチ
(ドアを施解錠する装置)。



▶ パワークローザーシステム

CSD (Compact spindle drive)
車両のバックドアの両端に搭載し、バックドアの電動開閉をおこなう。



CPD (Charge port door)
EVの給電口を開閉するシステム。



▶ ドアミラー

複合化の需要高まる。



データセンターの回復遅れが主因で大変厳しいものの 今回の業績予想変更を控える背景

単位：億円

		1Q	通期
2020年 3月期	売上高	2,044	9,784
	営業利益		
	決算	33	586
	調整後 (期初予想)	73	626 (770)
			+553
2024年 3月期	売上高	2,924	14,500
	営業利益	61	950
			+889

+324億円

2020年3月期との違い

- **半導体**
Eイブリック経営統合
滋賀工場は下半期黒字化
 - **モーター**
売上1.7倍(今期3,000億円超)
 - **ベアリング**
売上30%拡大
 - **カメラアクチュエータ**
売上3倍
 - **アクセス**
売上2倍
- ※ライティングとゲームは売上減少

為替

為替レート (円)	20年3月期 平均	現在	%
US\$	109.12	140.00	28%
ユーロ	121.27	155.00	28%
タイバーツ	3.52	4.00	14%
人民元	15.68	19.60	25%

自己株式取得に係る事項を決議（2023年8月4日）

- 取得株式総数： 上限 400万株
（発行済株式総数（自己株式を除く）の0.98%）
- 取得株式総額： **上限 100億円**
- 取得期間： 2023年8月7日から2023年12月22日まで
- 取得理由： 株主還元および資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策を遂行するため

配当：

原則として連結配当性向20%程度を目処としておりますが、経営環境を総合的に勘案し、継続して安定的な配当を目指します。



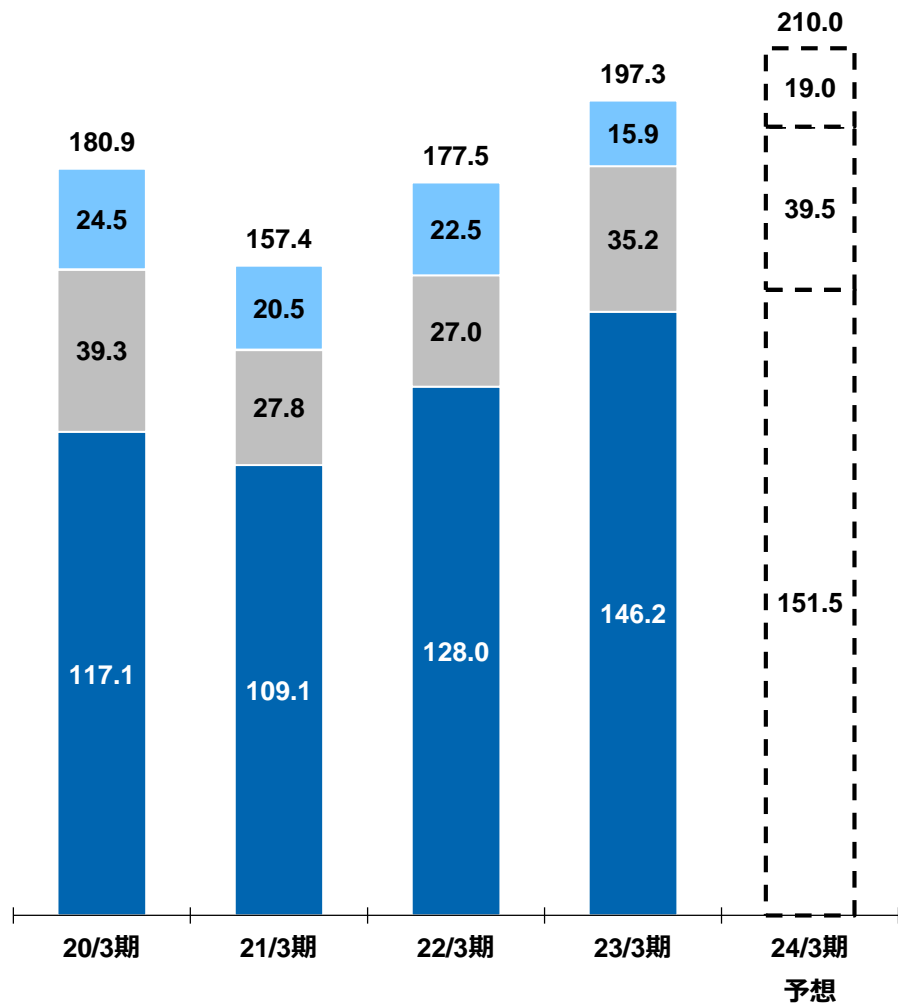
当資料で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。本資料に掲載のあらゆる情報はミネベアミツミ株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

參考資料

プレジジョンテクノロジーズ セグメント (PT)

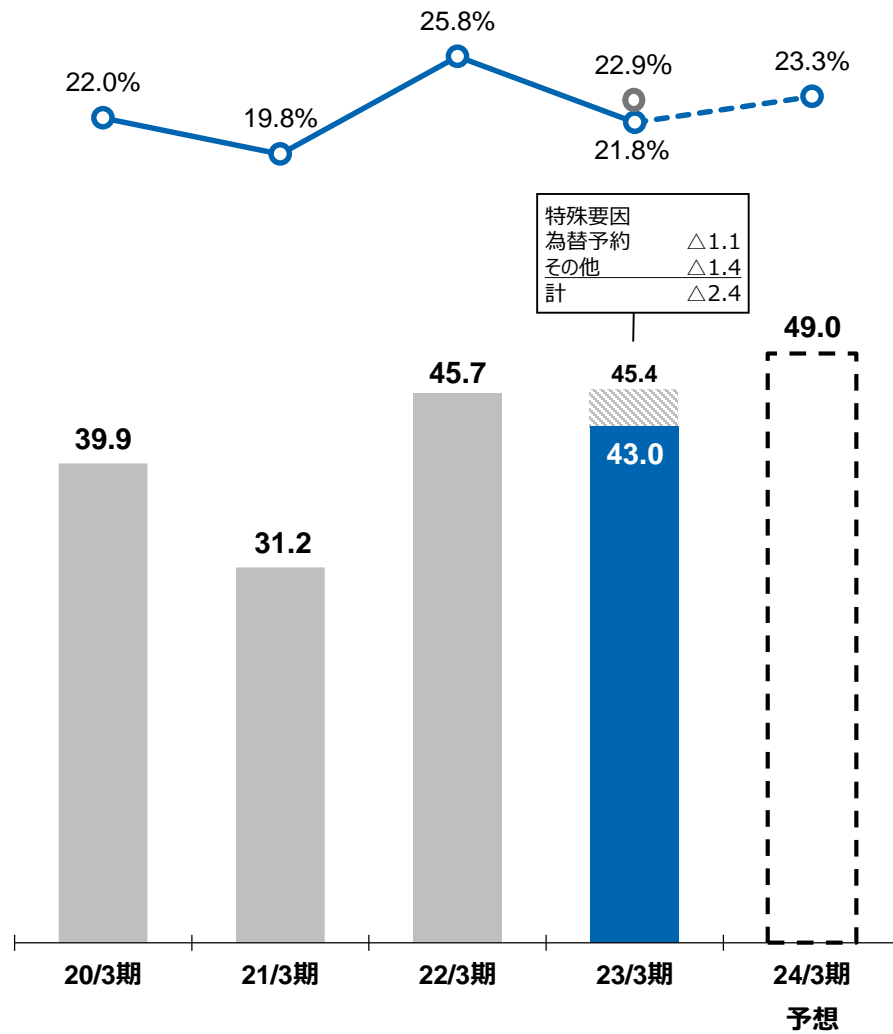
売上高 (10億円)

■ ボールベアリング ■ ロッドエンド・ファスナー ■ ピボットアセンブリー



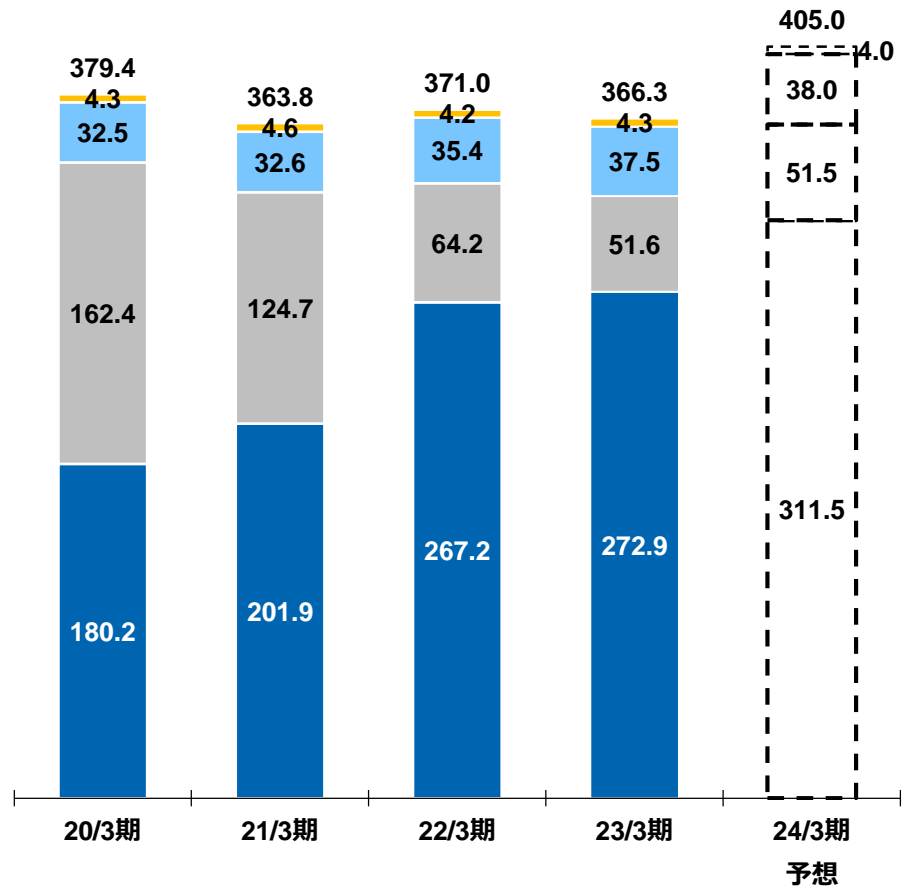
営業利益 (10億円)

■ 営業利益 ● 営業利益率

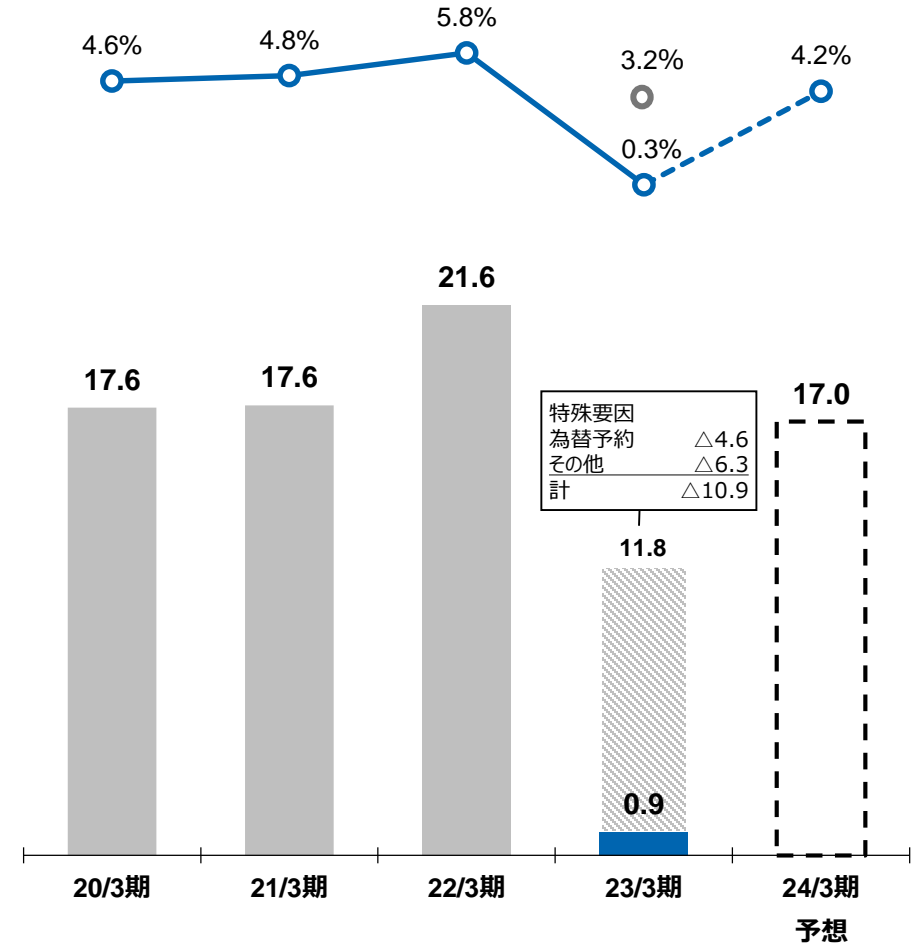


モーター・ライティング&センシング セグメント (MLS)

売上高 (10億円)

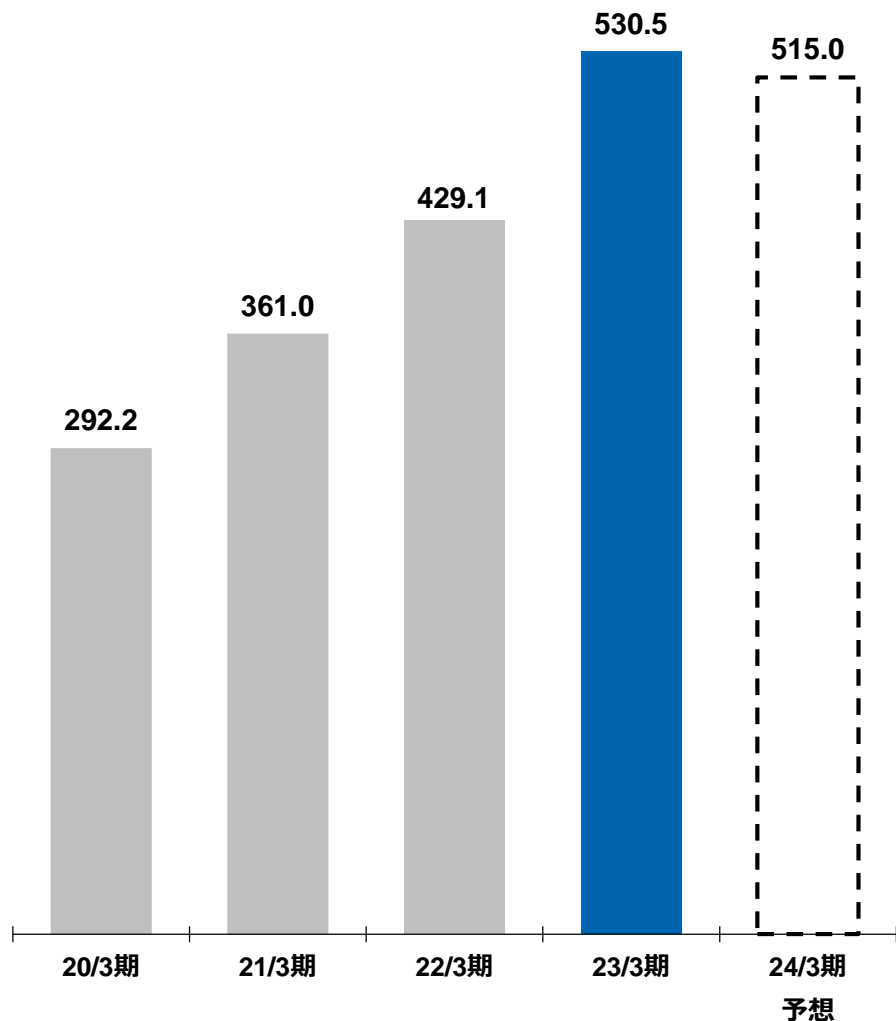


営業利益 (10億円)



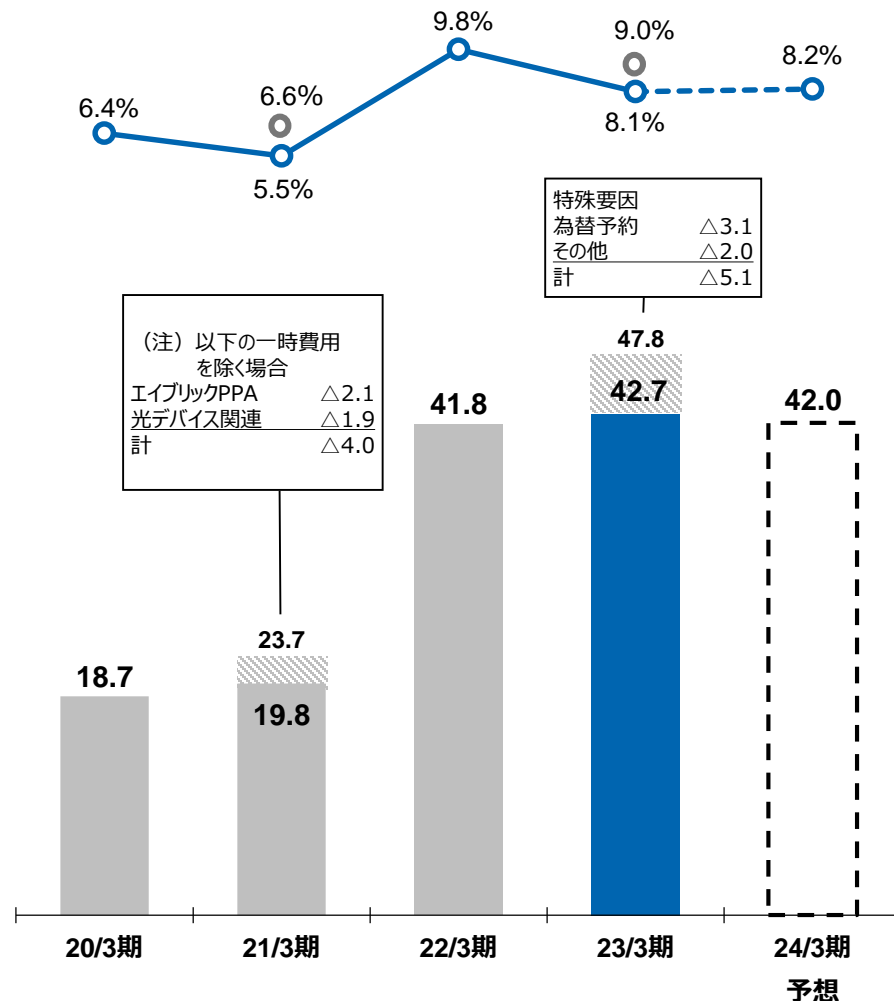
セミコンダクタ&エレクトロニクス セグメント (SE)

売上高 (10億円)



営業利益 (10億円)

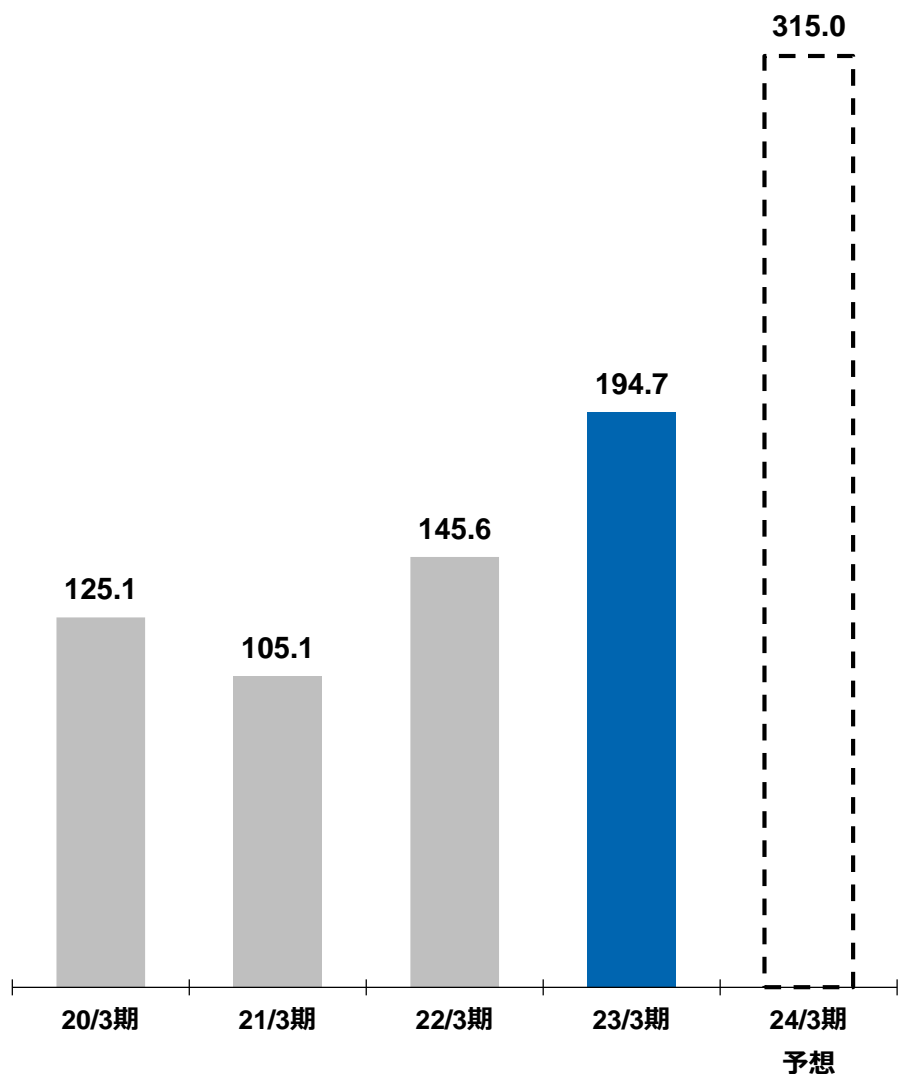
■ 営業利益 ○ 営業利益率



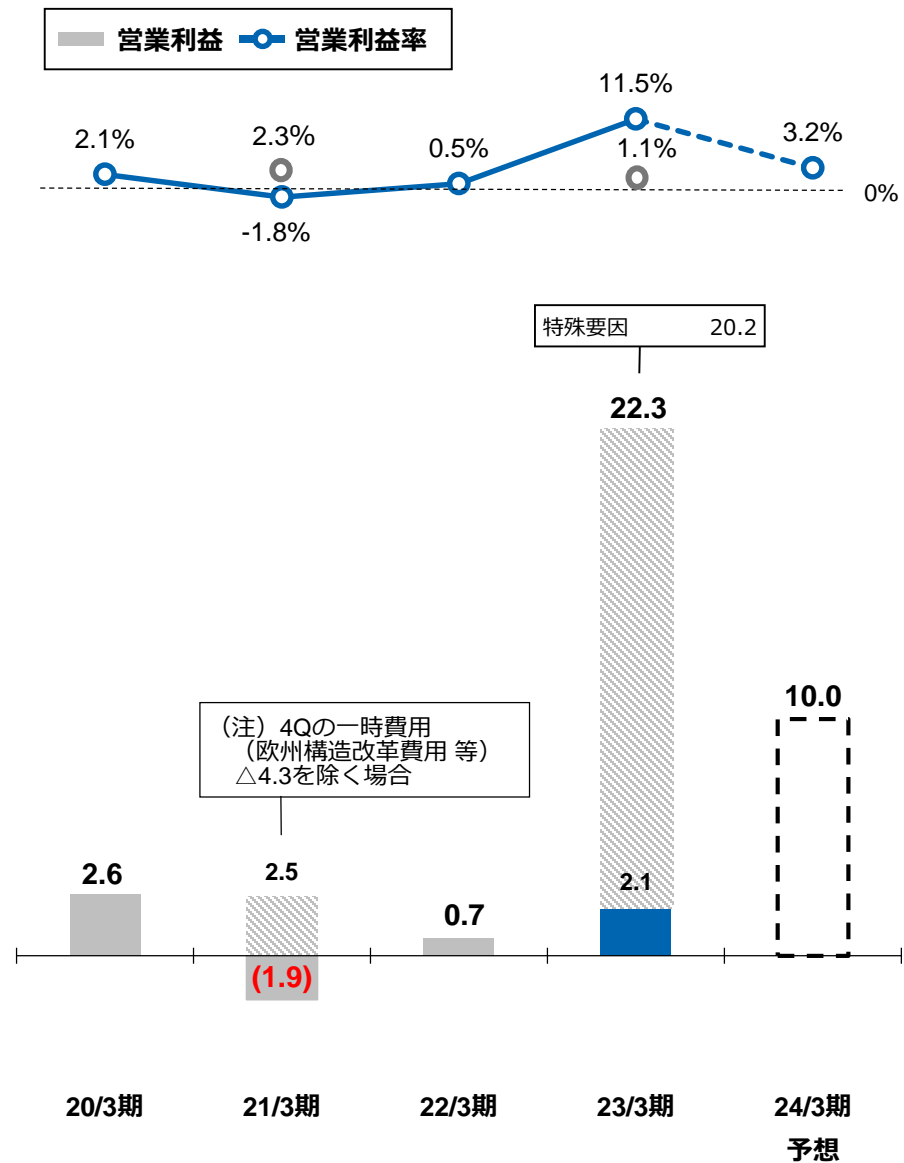
アクセスソリューションズ セグメント (AS)

決算期変更に伴い
20/3期は2019年1-3月
の数値を含まず

売上高 (10億円)

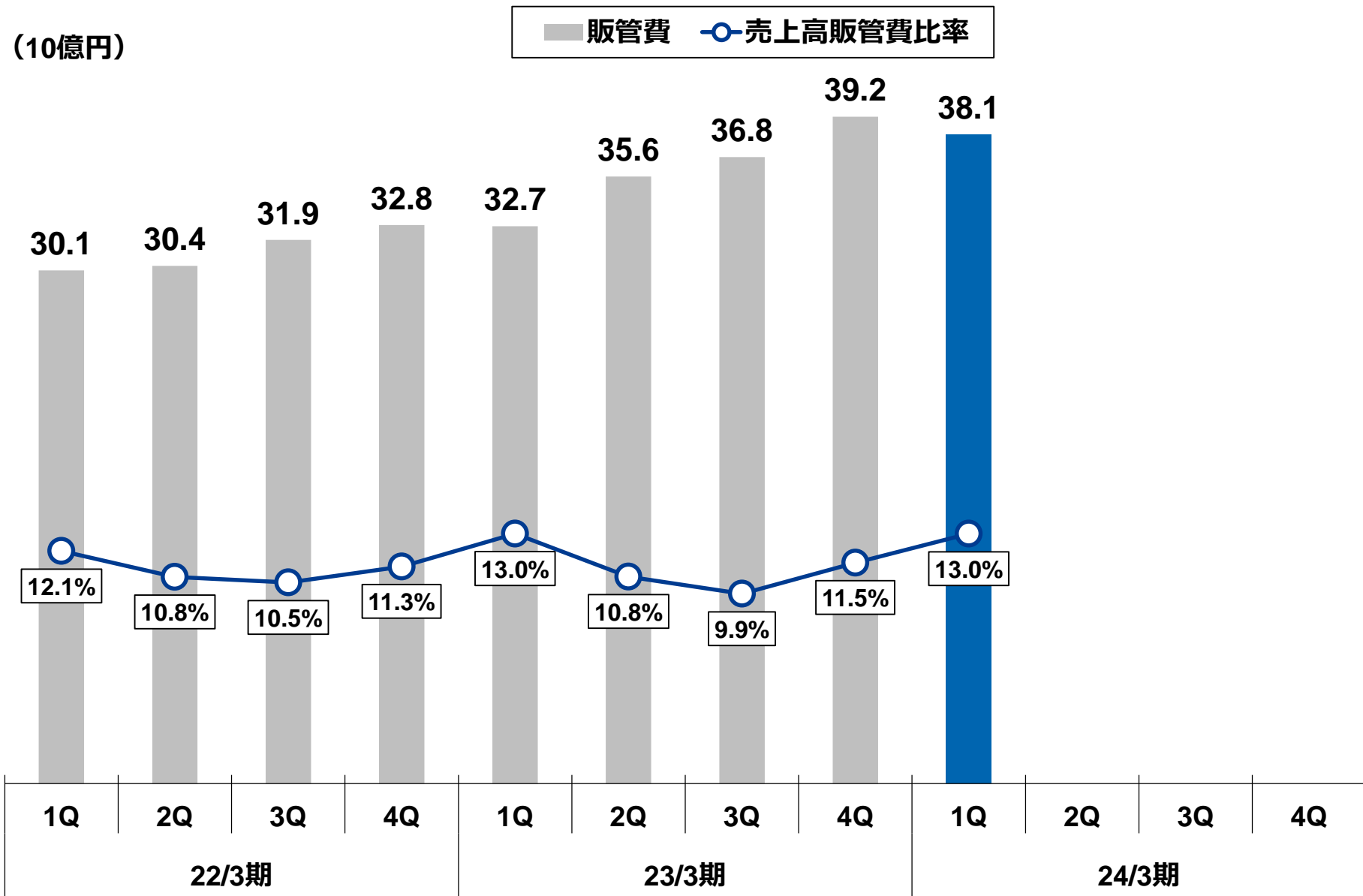


営業利益 (10億円)



販管費

(10億円)

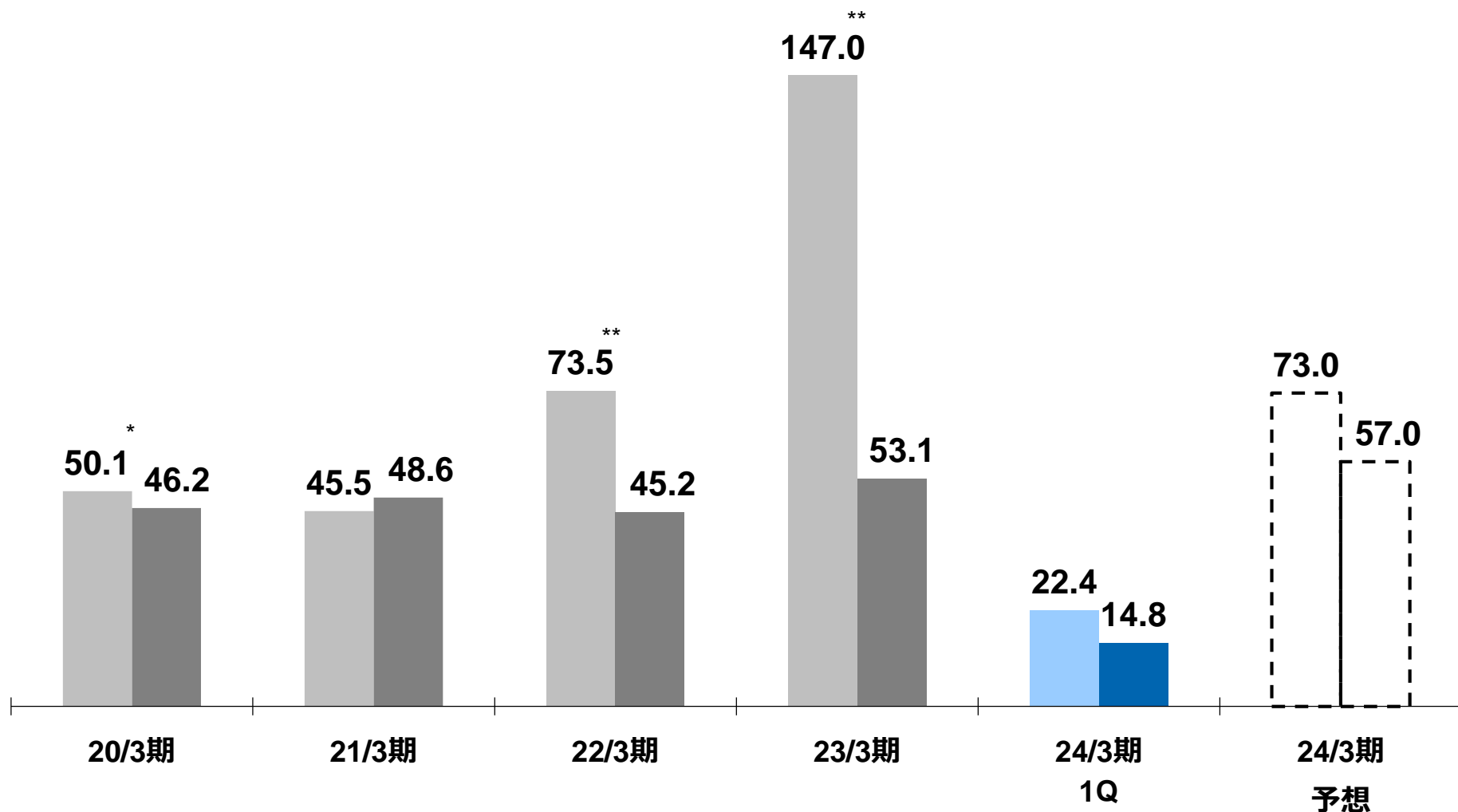


設備投資額・減価償却費

(10億円)

■ 設備投資額

■ 減価償却費



*20/3期 設備投資額には、IFRS16号適用開始日に増加したリース資産は含まれていません。

**22/3期、23/3期の設備投資額には、新本部ビル取得費用が含まれています。

ROIC (投下資本利益率)

アクセスソリューションズ (AS) は19/3は経営統合前の参考値でJGAAP、全社には含めない。

$$\text{ミネベアミツミ版 ROIC} = \frac{\text{NOPAT (営業利益+特別損益)} \times (1 - \text{税率})}{\text{投下資本 (受取手形+売掛金+棚卸資産+固定資産 - 支払手形+買掛金)}}$$

セグメント別で管理できる事業資産 (売上債権・債務、棚卸資産、固定資産) で算出

